

【概略】

平成26年度 潟上市財務状況把握の結果概要について

総合評価

債務償還能力〔地方債等の債務の大きさとその償還原資を獲得する能力〕 問題なし

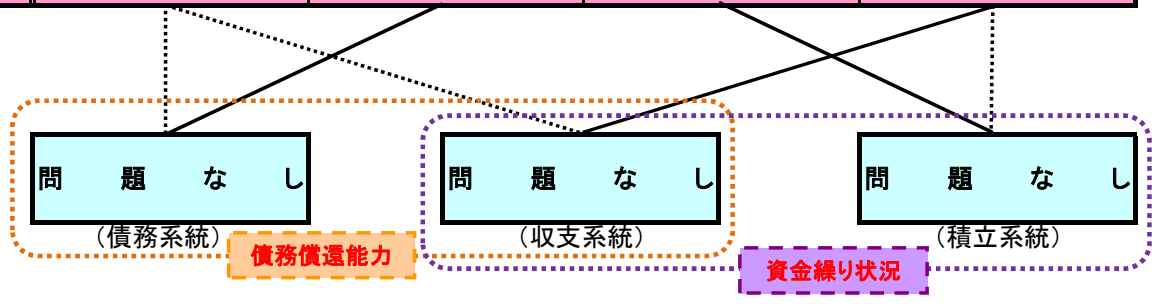
実質債務月収倍率（②）が低いことから、債務の水準に**問題はない**。
また、行政経常収支率（④）が高いことから、償還原資の水準に**問題はない**。

資金繰り状況〔経常的な収支と積立金等の備えからみた資金余裕状況〕 問題なし

行政経常収支率（④）が高いことから、経常的な収支の余裕度の水準に**問題はない**。
また、積立金等月収倍率（③）が高いことから、資金繰り余力の水準に**問題はない**。

財務指標

指標	①債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	②実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	③積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	④行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕
問題なし	7.5年	12.7月	5.3月	14.0%
やや注意		18月	3月	10%
注意	15年	24月	1月	0%



今後の見通し

今後の見通しについては、提出していただいた収支計画（平成31年度）に基づき実施したヒアリングの結果を記載しています。

- 債務償還能力
 - ・行政経常収支率は10%以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。
 - ・実質債務月収倍率は、18月未満であり低いことから、問題のない水準であると考えられる。
- 資金繰り状況
 - ・行政経常収支率は10%以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。
 - ・積立金等月収倍率は3月以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。